

【外務省対外発信拠点 Japan House London 主催】



北九州の成人式文化が、ロンドンで約5か月の企画展に！  
「Tradition/Rebellion: Coming-of-Age Style in Kitakyushu, Japan  
まつろわぬ二十歳」開催決定

外務省の対外発信拠点「ジャパン・ハウス ロンドン」にて、約5か月間、北九州市の成人式文化と地域社会に着目した世界初の企画展が開催されます。形式にとらわれず、自らの「個性」や「決意」を表現する若者たちのエネルギーと、その姿を支える人々や地域コミュニティ。本展を通じて、北九州ならではの文化と街の魅力がロンドンから世界へ発信されます。

## 1 企画展の概要

展覧会名：

『Tradition/Rebellion: Coming-of-Age Style in Kitakyushu, Japan まつろわぬ二十歳』

会期：令和8年（2026年）11月11日（水）～ 令和9年（2027年）4月18日（日）

会場：ジャパン・ハウス ロンドン（英国・ロンドン）

主催：ジャパン・ハウス ロンドン

企画：ジャパン・ハウス ロンドン、山口壮大氏（ファッションディレクター）

【参考】世界に日本の魅力を発信する「ジャパン・ハウス ロンドン」

外務省がサンパウロ・ロンドン・ロサンゼルスの世界3都市に設置する対外発信拠点。2018年に開館したロンドン拠点（ケンジントン・ハイストリート）は、展示ギャラリー、ショップ、レストランなどを備え、日本の文化・芸術・テクノロジー等の多様な魅力や様々な政策・取組を欧州へ紹介しており、開館以来300万人以上が来館しています。<https://www.japanhouselondon.uk/>



## 2 展示について（ジャパン・ハウス ロンドン発表資料より）

北九州市の「二十歳の記念式典」。そこには、振袖や羽織袴、スーツなどのフォーマルな装いから、創意あふれる華やかなスタイルまで、それぞれの個性や価値観をまとい、人生の節目を迎える若者たちの姿があります。ジャパン・ハウス ロンドンが今回着目したのは、華やかな装いそのものだけではなく、その背景にある若者たちの思いです。「仲間との絆」「地域への誇り」「家族への感謝」「新成人としての決意」—— 一人ひとりが装いに込めた思いと、そこから生まれる自己表現に光を当てます。

本展では、実際に着用された衣装や映像、新成人8人へのインタビュー動画を通じて、それぞれの装いに込められた思いを紹介します。さらに、衣装制作やヘアメイクなどに携わる地元の事業者・クリエイターや地域コミュニティにも焦点を当て、若者たちの自己表現が、周囲の人々とのつながりの中で形づくられていく姿を描きます。

二十歳という人生の節目にあふれる若者たちのエネルギーと、その自己表現を支える人々や地域とのつながり。本展では、北九州市の成人式文化を入り口に、その背景にある地域文化にも光を当てながら、「アイデンティティ」「多様性」「コミュニティ」というテーマを問いかけます。

【ジャパン・ハウス ロンドン企画局長 サイモン・ライト氏 コメント】

「日本には、海外ではまだあまり知られていない魅力的な地域文化やカウンターカルチャーが数多くあります。北九州市の成人式文化は、その代表的な例といえるでしょう。新成人にとって特別なこの祝祭の日を彩る華やかな色彩や、喜び、そしてそれを生き生きと表現する地域の作り手たちの創造性を、ロンドンの皆さまにご紹介できることを大変うれしく思います。本展が、日本の地域文化の新たな魅力に触れるきっかけとなれば幸いです。」

【北九州市長 武内 和久 コメント】

「Tradition/Rebellion: Coming-of-Age Style in Kitakyushu, Japan まつろわぬ二十歳」展の開催、心よりお祝い申し上げます。

「まつろわぬ」という言葉は、古来「権力に服従しない」ことを意味しますが、ここでは既存の枠組みにとらわれず、自分の心に従い、自分らしい道を進む思いを象徴しています。

北九州市の二十歳の記念式典では、振袖やスーツに加え、ひととき華やかな「ド派手衣装」で節目を祝う若者たちの姿があります。これは単なるファッションではなく、彼らの強い個性や家族への感謝、仲間への絆が込められた決意の表明です。

私は、常識や正解に縛られず、自ら選んだ道を「正解」にしていく彼らのエネルギーを否定することなく、全力で応援したいと考えています。新しい時代を切り拓く若者たちの姿は、未来への希望そのものです。

ロンドンの地で、北九州の若者たちが放つ圧倒的なパワーと、その挑戦を優しく、力強く後押しする街の空気感を、ぜひ肌で感じてください。



ジャパン・ハウス・ロンドン外観



過去の企画展の様子

「Ainu Stories: Contemporary Lives by the Saru River」

※ 企画展の詳細につきましては、別添の「ジャパン・ハウス ロンドン記者発表資料」をご参照ください。

【問い合わせ先】

政策局国際政策課

担当：香月（課長）、中島（係長）

電話：093-582-2146

報道関係者 各位

2026 年 9 月 15 日

北九州市の成人式文化を紹介する世界初の展覧会

## 『Tradition/Rebellion: Coming-of-Age Style in Kitakyushu, Japan まつろわぬ二十歳』 展

2026 年 11 月 11 日（水）－ 2027 年 4 月 18 日（日）

ジャパン・ハウス ロンドン 地下ギャラリー／1 階ショーウィンドウ・展示ブース



Photo: Nakamura Kenta

ジャパン・ハウス ロンドン（英国・ロンドン）は、2026 年 11 月 11 日（水）から 2027 年 4 月 18 日（日）まで、福岡県北九州市の成人式文化を世界で初めて本格的に紹介する『Tradition/Rebellion: Coming-of-Age Style in Kitakyushu, Japan まつろわぬ二十歳』を開催します。日本各地で祝われる成人式の中でも、ひととき独創的な装いで知られる北九州市の成人式文化を通して、若者たちの自己表現や地域への誇り、そしてそれを支える地域コミュニティとの関係性に迫り、日本の地域文化に息づく多様性と創造性を紹介します。本展は、ファッションディレクターの山口壮大氏とジャパン・ハウス ロンドン企画局長のサイモン・ライトが共同でキュレーションを手掛け、北九州市の人々との協働により、ジャパン・ハウス ロンドンの現地企画展として開催しま

す。

全国各地で開催される成人式の中でも、北九州市の成人式（二十歳の記念式典）は、若者たちが自ら個性や価値観を表現する場として独自の文化を育んできました。その大きな特徴の一つが、参加者の装いの多様性です。振袖や羽織袴、スーツなどのフォーマルな装いに加え、創意あふれる独創的なスタイルまで表現の形はさまざまですが、いずれも自身のアイデンティティや価値観を反映し、人生の重要な節目を祝っています。なかでも、正装を基調としながらも独自の工夫を凝らした華やかな装いは、北九州市ならではの魅力として、毎年全国的な注目を集めています。

北九州市は、小倉城の麓で城下町として古くから栄えてきました。20 世紀初頭には、日本初の本格的な銑鋼一貫製鉄所である官営八幡製鐵所が操業を開始し、これを契機に鉄鋼業をはじめとする産業が発展。北九州地域は日本を代表する工業地帯へと成長しました。官営八幡製鐵所の関連施設は、2015 年に「明治日本の産業革命遺産」の構成資産としてユネスコ世界文化遺産に登録されています。城下町としての歴史とともに産業の拠点として発展してきた歩みは、この地域の人々が抱く誇りやアイデンティティを育んできました。そうした地域への誇りは、同市の成人式にも色濃く表れています。

北九州市の成人式では、鮮やかな刺繍や大胆なデザインが施された着物に、厚底サンダルやぬいぐるみのアクセサリ、紫色に染め上げた巨大なリーゼントヘア、自らの名前や決意を記したのぼり旗など、正装の形式にストリートファッションの要素を掛け合わせた独特な装いが数多く生まれています。こうしたスタイルは、南北朝時代の日本に広まった「娑婆羅（ばさら）」と呼ばれる既存の概念や価値観にとらわれない反骨精神や美意識にも通じるものです。北九州市のこの風習は、学校の仲間との友情や強い地域への帰属意識を土台に、自分らしさを表現する手段として 20 世紀後半から発展してきました。当初は「厳粛な式典にふさわしくない」といった批判的な声上がることもありましたが、自分らしさを追求する若者たちのエネルギーと、それを受け入れ育んできた北九州の地域性が結びつき、現代では北九州市を象徴する文化の一つとして定着しています。一見すると型破りで華やかな装いは、単なる奇抜さの追求ではありません。正装という枠組みを踏まえながらも、あえて「目立つ」ことを通じて一人ひとりが個性を表現したものです。その一着一着には、「仲間との絆」「地域への誇り」「家族への感謝」、そして「新成人としての決意」といった思いが込められています。

本展では、北九州市における成人式スタイルの変遷を辿りながら、実際に着用された衣装や素材の展示、成人式に向けた準備の過程や式典当日の様子を捉えた映像などを通して、北九州市ならではの成人式文化の全貌を紐解きます。本展のために収録した、北九州市で成人式を迎えた 8 人の新成人へのインタビューも見どころです。なぜその装いを選んだのか、そこにはどの

ような思いが込められているのか、それぞれにとって「大人になる」とは何を意味するのか。本人たちの言葉から、一人ひとりの人生観やアイデンティティが浮かび上がります。「日本で一番になりたい」という強い思いから、母親の着物を受け継ぐことで家族への敬意や感謝を表したいという思いまで、それぞれの装いの背景にはさまざまな物語があります。また、この成人式文化は、着物や刺繍、衣装のデザインと仕立て、ヘアメイク、着付け、旗制作などに携わる地元の事業者やクリエイターたちと、新成人を祝福する地域コミュニティ全体の支えによって成り立っています。本展では、そうした人々の活動や技術にも焦点を当てながら、成人式を支える北九州市の多層的な魅力を英国に向けて発信します。華やかな装いの背景にある個人の思いと、それを支える地域コミュニティとのつながりを通して、来館者に「大人になるとは何か」という普遍的な問いを投げかけます。

『Tradition/Rebellion: Coming-of-Age Style in Kitakyushu, Japan まつろわぬ二十歳』展は、北九州市の成人式文化を多角的に読み解くことで、日本の地域文化が持つ創造性と多様性を紹介します。九州の一都市で生まれたこの独自の文化は、受け継がれてきた通過儀礼を、若者たちが自らのアイデンティティを表現する場として更新してきた実践の一例です。本展を通じて、英国ではまだ広く知られていない日本の地域文化への理解を深めてもらうとともに、「アイデンティティ」「多様性」「コミュニティ」といった日英両国の現代社会に共通する根源的なテーマについて考察する機会を提供します。地域に根差した一つの地域文化の物語が、社会や個人の在り方を見つめなおす新たな視点と対話のきっかけとなることを目指します。



Photo: Nakamura Kenta

「『Tradition/Rebellion: Coming-of-Age Style in Kitakyushu, Japan まつろわぬ二十歳』展の開催、心よりお祝い申し上げます。「まつろわぬ」という言葉は、古来「権力に服従しない」ことを意味しますが、ここでは既存の枠組みにとらわれず、自分の心に従い、自分らしい道を進む思いを象徴しています。北九州市の二十歳の記念式典では、振袖やスーツに加え、ひととき華やかな「ド派手衣装」で節目を祝う若者たちの姿があります。これは単なるファッションではなく、彼らの強い個性や家族への感謝、仲間への絆が込められた決意の表明です。私は、常識や正解に縛られず、自ら選んだ道を「正解」にしていく彼らのエネルギーを否定することなく、全力で応援したいと考えています。新しい時代を切り拓く若者たちの姿は、未来への希望そのものです。ロンドンの地で、北九州の若者たちが放つ圧倒的なパワーと、その挑戦を優しく、力強く後押しする街の空気感を、ぜひ肌で感じてください。」

——— 武内 和久（北九州市長）

「20年もの年月、つたない自分を露呈してきた家族、隣人、友人たちの前で、今の自分を誇り、感謝し、主張する北九州市の新成人の姿に心を打たれました。たとえ全国に放映され、世間の賛否に晒されても、彼らの装いが向いているのは、自己と仲間、そして目の前にいる家族です。未知の異文化ともいえる着物にひるまず、自分なりに解釈し、前のめりに身にまとう。遠くの流行ではなく、目の前の嗜好を。「いつか/どこか」ではなく、「いま、ここ」を大切にす。その姿には、かつて‘着るもの’であった着物の、いきいきとした姿と、自己と社会との関係を結びつづける、プリミティブなファッションの力が現れていました。この北九州市で約30年にわたり育まれてきた独自の継承を通じて、受け継がれながらも変化をつづける日本文化とファッションの一端をお楽しみいただけると幸いです。」

——— 山口 壮大（ファッションディレクター）

「日本には、海外ではまだあまり知られていない魅力的な地域文化やカウンターカルチャーが数多くあります。北九州市の成人式文化は、その代表的な例といえるでしょう。新成人にとって特別なこの祝祭の日を彩る華やかな色彩や、喜び、そしてそれを生き生きと表現する地域の作り手たちの創造性を、ロンドンの皆さまにご紹介できることを大変うれしく思います。本展が、日本の地域文化の新たな魅力に触れるきっかけとなれば幸いです。」

——— サイモン・ライト（ジャパン・ハウス ロンドン企画局長）

### 【開催概要】

展覧会名：『Tradition/Rebellion: Coming-of-Age Style in Kitakyushu, Japan まつろわぬ二十歳』

主 催：ジャパン・ハウス ロンドン

企 画：ジャパン・ハウス ロンドン、山口壮大（ファッションディレクター）

ジャパン・ハウス ロンドン協賛：Epson UK Ltd

会 期：2026 年 11 月 11 日（水）－ 2027 年 4 月 18 日（日）

場 所：ジャパン・ハウス ロンドン（101-111 Kensington High Street, London, W8 5SA）

時 間：月曜日～土曜日 | 午前 10 時～午後 8 時

日曜日・祝日 | 午後 12 時～午後 6 時

入 場：無料

### 【本展広報用画像】

本展の広報用素材は[こちら](#)からダウンロードいただけます。

以下の QR コードからもアクセスいただけます。



本展の公式展覧会画像につきましては、準備が整い次第ご案内いたします。

### 【山口壮大氏について】

ファッションディレクター。1982 年、愛知県常滑市生まれ。文化服装学院を卒業し、第 22 回学院長賞を受賞。2006 年よりスタイリスト、ファッションディレクターとして活動を開始。これまで KANSAI YAMAMOTO のクリエイティブディレクターを務めたほか、ファッションデザイナー高田賢三の回顧展をキュレーションした。東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の表彰式スタッフの衣装デザインも手がけた。

### 【ジャパン・ハウスについて】

ジャパン・ハウスは、日本の多様な魅力や政策、取組を発信することにより、幅広い層に対し、親日派・知日派の裾野の一層の拡大をはかることを目的に、外務省により世界の 3 都市（サンパウロ・ロンドン・ロサンゼルス）に設置された対外発信拠点です。

ジャパン・ハウス ロンドンは、日本文化への関心が高まる欧州の拠点として、ロンドン市内の文化的、商業的建造物が多く所在するエリアの目抜き通りケンジントン・ハイストリートに2018年6月に開館しました。アールデコ調の歴史的建造物の中の3フロアにわたり、展示ギャラリー、多目的スペース、ライブラリー、レストラン、カフェ、ショップ、観光案内コーナーを備えた複合施設として、アート、デザイン、食、建築、テクノロジーなど日本の多様な魅力を通して、真の日本との出会いを現地の人々に提供しています。

[公式ウェブサイト](#)

[Facebook](#)

[Instagram](#)

[YouTube](#)

### 【ジャパン・ハウス ロンドン活動報告動画】

2025年4月から2026年3月までの活動報告を[こちら](#)からご覧いただけます。

### 【本展に関するお問い合わせ先】

ジャパン・ハウス ロンドン事務局 Marketing & Communications チーム

担当：飛驒 香生里 (Stakeholder Engagement Manager)

E-mail：[Kaori.Hida@japanhouselondon.uk](mailto:Kaori.Hida@japanhouselondon.uk)